

本 気

ほん

き

10月 〈臨時〉

平成28年10月21日

三島市立東小学校

校長 鈴木 真

学校教育目標「徳・知・体」「思いやる行動をする子・よく考え、伝える子・体をきたえる子」

「全国学力・学習状況調査」から見える東小の子どもたち…

本年度も全国の小学6年生と中学3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。調査は、4月19日に実施され、本校6年生も調査を受け、先日、児童一人一人に文部科学省から送付された個人票を配付いたしました。6年生の保護者のみなさんは、設問ごとの結果がわかりますので、個人票に記載されている全国の結果と照らし合わせ、お子様の優れている点や努力したい点を見いだしてほしいと思います。

今回の調査で測定できるのは、学力の特定の一部ですので、教科に関する調査結果だけでなく、学習・生活習慣等と学力との関係の分析も進め、本校の教育活動に活かし、子どもたちの学習意欲や学力の向上につなげていきたいと考えています。

以下、本校の状況について、お知らせします。

※実際の問題については、国立教育政策研究所のホームページに公開されていますのでご覧ください。

1 国語の学力調査より……

	静岡県平均との比較	全国平均との比較
国語A（主として知識）	下回っている	やや上回っている
国語B（主として活用）	やや上回っている	やや上回っている

◆ 国語A（主として知識）

- ◎漢字の読みは、県・全国平均を上回っている。
- ◎複数の選択肢から、問われている内容にあうものを選択する問題はできている。
- △漢字の書き、ローマ字の読み・書きができていない。
 - ・漢字「そうだん」が、県・全国平均より10%以上低い解答率である。
 - ・ローマ字の読み・書きの無解答率が10%以上である。

☆ 今後伸ばしたい力や対策

- 学習した漢字やローマ字を日頃から見つける機会を設定したり、様々な場面で実際に使用したりすること。
- 意味調べ、単文づくり等、語彙力を高めるために、国語辞典、漢字辞典を利用したり、様々な文章を読んだりする機会を増やす。

◆ 国語B（主として活用） 長文資料（インタビュー、報告文等）を読んで、解答する問題。

- ◎目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く問題はよくできている。
- △記述式の問題で、無解答が多い。
- △目的や意図に応じて、図表やグラフを基に、自分の考えを書くこと。

☆ 今後伸ばしたい力や対策

- 「書く」ことへの抵抗をなくすため、日頃から自分の考えを書く習慣を身に付けさせたい。
- 条件がある場合には、全て満たす文を書く力をつける。
- 書いたものを最後に読み直す習慣をつけさせたい。

2 算数の学力調査より……

	静岡県平均との比較	全国平均との比較
算数A（主として知識）	やや下回っている	やや上回っている
算数B（主として活用）	やや下回っている	やや下回っている

◆ 算数A（主として知識）

- ◎わり算のきまりを理解したり、正しく計算したりすることはできている。
- △小数のたし算では、数の構成が理解できていないため位をそろえて計算できない子どもが多い。（問題） $4.65+0.3$ （誤答） 4.68
- △整数と小数の大小関係について理解できていない子どもが多い。（問題） 7.1 、 7 、 7.01 の3つの数で、一番小さい数を答える。（誤答） 7.01
- △直方体の面と面の関係について、垂直関係にある面すべてを選べない。
- △単位量あたりの大きさや割合の意味について、理解できていない子どもが多い。

☆ 今後伸ばしたい力や対策

- 数の仕組みと、位をそろえて計算する計算の仕方を関連づけて指導する。
- ただ公式に当てはめて解くのではなく、公式の意味を理解して活用、応用する力をつける。
- 単位量あたりの大きさや割合などの問題では、「もとにする量」、「比べられる量」、「割合」の関係をとらえられるようにする。

◆ 算数B（主として活用）2ページ以上にわたる設問（図形の特徴、表、グラフの意味等）です。

- ◎例示された説明を基に、別の場面に適用して、説明する問題はできている。
- △立式はできたが、計算の順序（たし算よりもかけ算を先に計算する）を間違えて計算している。
- △単位量の考え方が、定着していない。
- △示された式について、式の意味や数値の意味を理解していない。

☆ 今後伸ばしたい力や対策

- 式の意味や計算の仕方、友だちが解いた方法を、自分の言葉で説明する機会を増やす。
- 問題文や問題場面から正しく数量関係を把握する活動をする。（単位量・もとにする数）
- 計算のきまり・順序を確実に押さえる。

3 児童質問紙調査結果より【東小の子どもは】……

【学習】…実際の学力調査と同じような結果が質問紙からもうかがえました。

- ◎学校の授業時間以外に勉強している割合が多い。
- ◎読書が好きな子が多く、読書をしている子や図書室、図書館に週に1回以上行っている子が多くいる。特に、図書室や図書館に週に1回以上行く子どもは、県や全国よりも25%以上、上回っている。
- ◎算数の勉強は好きな子が多い。
- △400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと感じている子が多い。
- △算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法で考える子が少ない。

【生活習慣】… 子どもの学力は、生活習慣と密接な関係にあります

- ◎将来の夢や目標を持っている子の割合は、県や全国平均より高い。
- ◎自分には、よいところがあると思っている子が多い。
- ◎先生は良いところを認めてくれていると感じている子が多い。
- ◎学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある子が多い。
- ◎住んでいる地域の行事に参加している子や、地域社会などでボランティア活動に参加したことのある子が多くいる。
- △寝る時刻が11時以降の子は12.3%いる一方で、9時より前に寝ている子が15.4%いる。早寝・早起きができている子とできていない子の差が激しい。
- △平日に、テレビやDVDを観る時間が3時間以上の子、ゲームを2時間以上やっている子が27.7%いる。また、携帯電話やスマートフォンを1時間以上使っている子が23%いる。下校後、家でメディアを活用している子が多い。